

## 中国経済の現状や日中経済交流の展望

### —上海对外経済貿易大学 陳教授のオンライン講演会を開催—

2024年9月27日

講師：陳子雷 上海对外経済貿易大学 教授

経済広報センターは9月27日、「今後の中日経済交流の展望」と題するオンライン講演会を開催した。会員企業の幹部や海外事業担当者ら78人が参加した。

はじめに上海市人民対外友好協会の傅継紅副会長がビデオメッセージであいさつ。多くの日系企業が上海で発展を遂げており、経済活動のさらなる展開に期待を示した。

続いて、上海对外経済貿易大学の陳子雷教授が、2024年7月の中国の重要会議「中国共産党第20期中央委員会第3回全体会議」（三中全会）で議論された政策、中国経済の状況、日中経済交流の現状と展望等について説明。中国の中長期の経済運営の方向性として、生態系や環境の保護、企業の経営資源の流動性向上、サービス分野の事業拡大などを挙げた。また中国経済については、これまでの伝統産業に代わり、「新三様」と呼ばれる電気自動車（EV）・太陽光パネル・電気電子産業が輸出産業の主役となったことや、各種製品の内製化を推進しようとしていることを指摘した。他方、不動産は厳しい状況が続いているとした。日中経済交流では、今後、環境・省エネルギーを含むグリーン経済や、医療・介護・ヘルスケアの分野などでの協力を後押ししていくと述べた。

意見交換では、中国の二次元コードやデビットカードは日本で使える一方、日本のそれらは中国で使用できないため、日本からの観光などにおいて、ある種の障壁になっているとの指摘があった。これに対して陳氏は、中国は過去10年、規制緩和に取り組んでいることに言及。その成果として近いうちに、中国の高速道路やコンビニなどで日本と同様のサービスを享受できるようになるのではないかとの見解を示した。

以上

---

一般財団法人

## 経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。